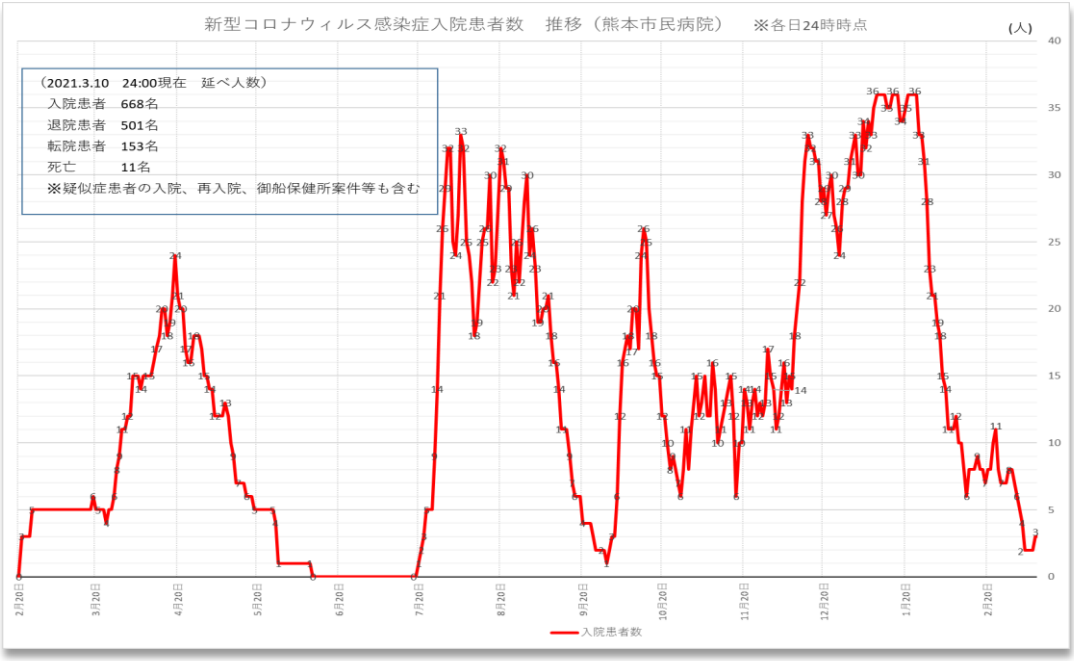
熊本市民病院におけるクラスターの院内発生について

【総務企画課】

１．熊本市民病院の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ

（１）経過

令和２年２月　８日　帰国者・接触者外来設置
　　２月２１日　県内初の感染者発生・受入
　　〃　　感染症病床８床に加え一般病棟２８床を感染症病棟として整備（計３６床）
　　４月１６日　協力医療機関への転院開始
　　４月２０日　第１波受入れ患者のピーク（25 名）
　　８月　５日　第２波受入れ患者のピーク（33 名）
　　８月２１日　宿泊施設への移送開始
令和３年１月　９日～24 日　第３波受入れ患者のピーク（36 名）
　　２月　１日　患者の自宅療養開始



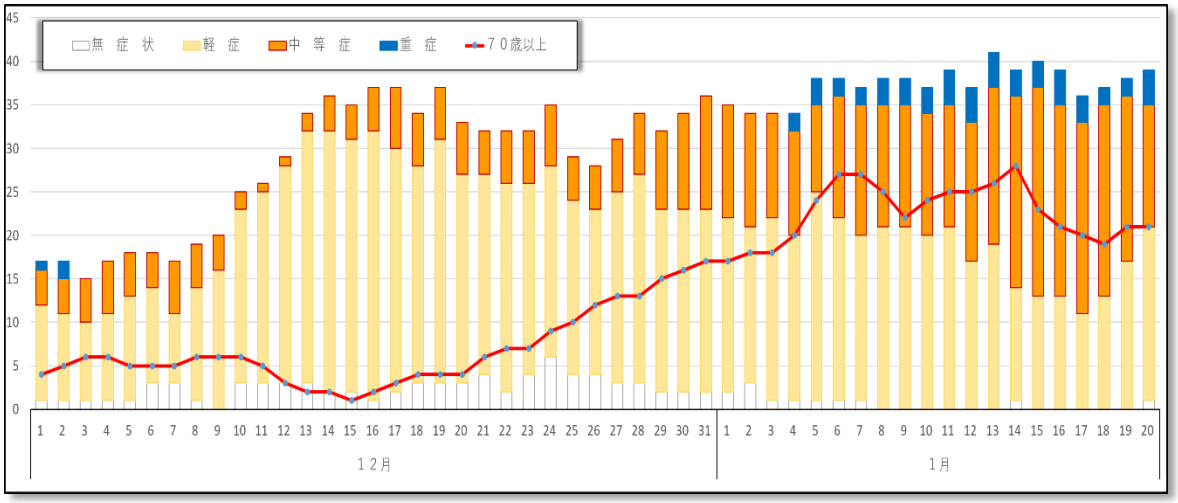
（２）院内感染防止対策

当院に勤務する全職員の毎朝の健康チェックや、入院患者、面会者の体温測定を開始し、面会の禁止、窓口等へのアクリル板の設置、手指消毒の徹底等の感染防止対策を実施

２．院内クラスター発生について

（１）令和３年１月２０日クラスター発生までの１か月の受け入れ状況

- １２月中旬以降、病床が満床に近い状況となったことに加え、高齢者施設でのクラスター発生等に伴い、１２月下旬より中等症患者、重症患者が増加した
- また、７０歳以上の患者（グラフ中の赤線）が増加し、看護と介護が必要な患者と密に接触する機会が増加し、リスクが増大した



| 月 | 12月 | | |

１月２１日(木)～２２日(金)

・全職員、委託業者、患者 1,207 人の検体採取・検査

１月２３日（土）

・上記検査により１名の陽性判明（事務職員１名）
（関連なくクラスターに含まず）
・上記事務職員の接触者 65 名のＰＣＲ検査実施（結果：全員陰性）
・上記事務職員の自席に近い職員５名の２週間の自宅待機

１月２５日(月)　通常診療再開（全職員等の陰性を確認）

・委託業者職員の陽性が判明（関連なくクラスターに含まず）
・消毒及び委託職員８名のＰＣＲ検査実施（結果：全員陰性）

１月２７日(水)～２８日(木)

感染症病棟関係者５２名の定期ＰＣＲ検査（週１回）実施
・１名の陽性判明（医師１名）（クラスター８例目）
・通常診療は継続（一般外来・一般病棟との接触がないため）
・上記医師の接触者 152 名のＰＣＲ検査実施（結果：全員陰性）
・感染症病棟等の消毒実施

２月１１日(木)　クラスター終息

（３）院内クラスター発生後の当院の対応状況

・マスクやガウンなどのＰＰＥの適正な装着、日々の環境消毒、職員の健康観察、体調が不調である際の休暇取得など、更に感染予防策を徹底する。
・全職員（委託業者含む）のＰＣＲ検査を月１回実施し、感染予防策の取組を進めていく。（第１回目全職員ＰＣＲ検査を３月２日から４日の３日間にかけて実施。結果：全員陰性。）
・感染症病棟に従事する職員は週 1 回の PCR 検査を実施。（１月２７日から３月１１日までに７回実施。）